

見つけて防ごう!

子供にとっての身近な危険

～ 乳幼児期の事故防止学習ソフト ～

探して
みよう

この中に子供に
とっての危険が

9個

潜んでいます



▶ 答えは裏面へ

子供を事故から守る!

身近な危険を見つけて防ごう!

東京都では、令和4年に約9,500人もの

子供(0歳から5歳)が事故にあい、救急車で運ばれています。(※)

身近な危険を見つけて防ぐことは、子供を事故から守るために大切です。

※出典:東京消防庁「救急活動の現況 令和4年(2022年)」

今すぐ体験!



東京都福祉局

東京都 見つけて防ごう

検索

ご存じですか？

0歳における不慮の事故の原因の
約9割は窒息によるものです！

その他不慮の事故死

12%

窒息による死亡
88%

出典：令和4年 人口動態統計

① 携帯電話等での撮影

携帯電話、カメラ等で赤ちゃんを撮影する際に、顔に落下しけがをする危険があります。

② ベッドとマットレスの隙間

ベッドの柵とマットレスの間に隙間があると、赤ちゃんの首がはさまり窒息する危険があります。

③ タオル

赤ちゃんの顔のそばにタオルが置いてあると、鼻や口がふさがれて窒息する危険があります。

④ 柔らかい枕

枕が柔らかすぎると、鼻や口がふさがれて窒息する危険があります。

ベッドに潜む危険

※0歳 おすわりまでの時期



⑤ めいぐるみ

ベッドの中や赤ちゃんのそばにめいぐるみが置いてあると、鼻や口がふさがれて窒息する危険があります。



⑥ 柔らかいふとん

ふとんが柔らかすぎると、鼻や口がふさがれて窒息する危険があります。

⑦ リボン

赤ちゃんのそばにリボンやひもが置いてあると首にからまって窒息する危険があります。

⑧ よだれかけ

よだれかけのヒモが首にくいこんだり、よだれかけが鼻や口をふさいでしまい、窒息する危険があります。

⑨ 柵

まだ動けないと思っていても、赤ちゃんは手足を動かしたり、寝返りができるようになります。ちょっと目を離したすきに、転落する危険があります。

乳幼児期の事故防止学習ソフト 「見つけて防ごう！子どもにとっての身近な危険」ベッド編より

見つけて防ごう！ 子供にとっての身近な危険

～乳幼児期の事故防止学習ソフト～

子供にとっての身近な危険を大人が実感することで、日常生活の中での事故防止対策に活かしていただくための「乳幼児期の事故防止学習ソフト」をリニューアルしました。

乳幼児期の子供に起こりやすい事故と、事故を防ぐための対策を学ぶため、ぜひご活用ください。

POINT 01 事故がどのようにして起こるかを動画で見ることができます

POINT 02 身近な危険をクイズ形式で学習できます

POINT 03 子供の視界と大人の視界の違いを体験できます

今すぐ体験！



東京都 見つけて防ごう 検索